

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	80	学校名	静岡県立浜松商業高等学校	校長名	井口 裕史
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
ア	高度で実践的な課題解決型の商業教育や学習指導を通して学力向上や進路実現を図る。	・授業への満足度調査で「満足している」「適切な選択科目がある」と答える生徒 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業全体への満足度は 89.3%、商業科目については 84.3% 「適切な選択科目がある」へのアンケート結果は「当てはまる」 83.5%。 	B	・他教科に比べると商業科目についてやや低い結果でもあるので、更なる改善が求められる。
		・外部コンクールへの応募3つ以上と校内での成果発表ができた	代表的なものは、以下のとおりである。 ① フードグラフィ ② シブクリプロジェクト ③ 日経ストッカーゲ ④ SDG s ⑤ 文書デザインコンテスト ⑥全国高等学校ビジネスアイデア甲子園		<ul style="list-style-type: none"> 外部コンクールは、教育的効果を上げている。 他にも企業等との連携を複数展開した。
		・日商簿記3級合格 70%以上	<ul style="list-style-type: none"> 11月受検で約 39.4%が合格(昨年同時期 25%)。昨年度は最終的に 60%強。 		<ul style="list-style-type: none"> 今年度は目標達成が目指せる数値と考える。 1級合格者1名は立派である。
		・情報処理技術者試験合格者 10名以上	<ul style="list-style-type: none"> ITパスポート試験合格者6名、基本情報技術者試験合格者9名 		<ul style="list-style-type: none"> 目標が10名に対して15名の達成は、素晴らしい。
		・生徒が学習した知識に基づき自分の意見を適切にまとめて表現できる状態になる	<ul style="list-style-type: none"> 74.5%の生徒が「概ねできる」と回答。 		<ul style="list-style-type: none"> 何のために学習するか、目的意識をもってほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習上の課題を的確に把握し、改善案を提示（結果検討会の開催） ONE WEEK の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 1、2年生は年間3回実施し、試験結果到着後に結果検討会を2回実施した。 		A
		<ul style="list-style-type: none"> 進路指導への活用の検討 		<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度よりテスト結果を校内選考資料に取り入れ、3年間の成 	

様式第3号

					績や資格等と合わせて総合的な判断材料とする。
		・就職希望企業内定 100%	・1月17日時点で 98.8%→100%達成	A	・未決定者2名(公務員1名・民間企業1名)
		・希望進学先合格 100%	・1月17日時点で 96.3%→100%達成		・未決定者5名(4年制大学3名、専門学校(看護)2名)
		・handy を活用した生徒 100% ・進路だより等発行 10回以上(配信含む)	・handy を活用した生徒 100% ・2学期までに計8回発行。(配信含む)	A	・3学期に1~2回発行予定。
		・授業で教員の ICT 活用 100% ・一人一台端末を活用した授業を行った教員 80%以上	・情報管理担当教員による研修を複数回実施 ・教員の ICT 活用 94.1%		・日々の授業をはじめ学年行事や学期ごとの振り返りにも活用している。
		・学習ニーズに合っていると答える生徒 90%以上	・学習ニーズに合っていると答える生徒 83.4%	B	・各教科・科目において観点別評価の基準を定め、適切に実施できている。
		・「先生方は、教材や教え方に様々な工夫をしている」と答える生徒 80%以上	・授業評価アンケートの該当項目において「工夫している・やや工夫している」が 88.4%		・目標は十分に達成している。 ・次年度はより具体的な項目で工夫を評価するようアンケートを改善する。
イ	活力ある学校行事や部活動・特別活動等を通して、豊かな人間性や健やかな心身を身に着けた生徒を育成する。	・「有意義だった」「満足」と答える生徒 90%以上	・浜商祭全体 97.4% ・浜商祭商業展 98.4% ・修学旅行 98.9%	A	・どの行事も概ね目標を達成している。
		・「学校行事は楽しく有意義」と答える生徒 90%以上	・「あてはまる」生徒 91.9%。		・行事の目的を踏まえてより充実した内容にしていく。
		・全国大会出場 10 部活以上 ・県大会出場 20 部活以上	・全国大会出場 12 部活動。 ・県大会出場 24 部活動。	A	・より活動を充実させていく。
		・活動内容の見直し 80%以上	・見直しをした部活 88.2%		・来年度は全体に促し、すべての部活で見直しをする。
		・「部活動基本方針」の遵守 100%	・94.1%という結果であるが、ほとんどが遵守している。		・各部活動の活動計画を保護者にも確実に伝えていく。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・「部活動やボランティア活動に積極的に取り組み、主体性や協働性が育成されている」85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あてはまる」生徒 85.4%。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・Classroomで配信することで夏季休暇中のボランティア参加者が微増した。 ・生徒会部を中心にボランティア活動に参加している。
		<ul style="list-style-type: none"> ・学年会年間 12 回以上開催 ・学年主任情報交換年間 10 回以上 ・学年集会各学期に 2 回以上実施。 ・個別面談年間 3 回以上実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会議 9 回実施 (12 月末) ・学年集会 5 回実施 (12 月末) ・個別面談は学校全体で 4 月と 9 月に面接週間を実施し、夏休みに三者面談を実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会だけでなく他学年ともコミュニケーションを密にして情報交換に努めた。 ・学年主任情報交換は朝の挨拶と兼ねて昇降口にて実施。学年間問わず生徒に声掛けができた。
ウ	計画的かつタイムリーな生活指導を通して、基本的な生活習慣を確立し、規範意識や倫理観を持つ、自立した主権者としての資質を持った生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的に挨拶ができる」生徒 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あてはまる」生徒 88.6%。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員も含めて主体的に挨拶していく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる違法行為 0 件 ・交通事故前年比 10%減 ・自転車交通違反切符を受けた自転車通学生徒 30%以内。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる不適切な行為 0 件。 ・交通事故は前年比 7.1%増加、重大事故は 0 件。 ・自転車交通違反切符前年比 153.6%増加 ・交通安全や交通マナーに適切な指導が行われている、に「あてはまる」生徒 87.8%。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自転車違反切符を複数回受けている生徒は、今後保護者にも伝えていく。 ・重大な交通事故は起きていないが、登校時に急いでいたことが原因のものが多いため、余裕をもって登校することを指導していく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「基本的な生活習慣が身についている」生徒 85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あてはまる」生徒 91.4%。 		<ul style="list-style-type: none"> ・すばらしい結果であった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「スマホ、インターネット、マナーの向上に対して適切な指導が行われている」生徒 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あてはまる」生徒 82.5%。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを大切にしながら場をわきまえた行動ができる、人の心がわかる生徒の育成を目指す。
エ		<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練年 3 回実施 ・避難経路を理解し 15 分以内で避難点呼完了 ・地域防災参加率 70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 3 回実施。点呼完了 10 分以内達成 ・地域防災参加率、生徒 40.3%、教員 84.8% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・役員のみ参加等に近年切り替わっているという実情がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さや健康への理解が深まった生徒 88.6% 		<ul style="list-style-type: none"> ・チーム研修において、事例を用いた人権感覚の醸成を図った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒課通信の発行年5回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒課通信年発行5回達成。(配信含む) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・場をわきまえ、考えて行動するように促すことができた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・SCの活用(相談件数延べ50以上) ・特別支援情報共有会年10回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・SCは活用できた。(12月現在40件) ・特別支援情報共有会は10回以上実施。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・できれば、SCの回数を増やしてほしい。 ・個別の支援計画をもって入学した生徒の情報共有を定期的に行うことにより、安定した学校生活を送ることができている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談できる先生がいる」80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体では67.3%(3年では73.4%) 		<ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるにつれて数値は上がっている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の初期指導の実施 ・毎学期人間関係づくりプログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活が充実している生徒94.1% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年度始めに人間関係作りプログラムを行うことにより、スムーズなクラス運営につながった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会で検討し、今後どのようにするかの見通しが立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション性も検討課題かもしれない 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・制服の見直しについては、今すぐ見直しという結論には至らなかった。今後、本当に必要なかを検討し、考えていく方向である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期1回以上の安全点検 ・保健だよりの定期的発行 ・要受診者への積極的アプローチ ・タイムリーな啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検は計画通り実施 ・保健だよりは12月現在8回発行 ・1月17日現在の要受診者の受診率(治療完了率)は全体で、耳鼻科86.7%、視力45.2%、歯科31.3%であった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・要受診者の受診率が低すぎるので、100%の受診率を来年度以降目指していきたい。 ・健康の維持や向上は基本的なテーマなので、継続努力を期待したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期ごとの執行計画の立案と執行率95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・執行率は達成の見込み。 ・施設設備の安全確保について保護者アンケートでは12.2%がわからないと回答。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・物価の高騰等により予算的に厳しい状況が続いているが、執行計画に基づき適正に執行できている。 ・施設、設備の老朽化が目立ってきており安全性を第一に教育活動に支障がないよう対応していく。 ・施設の管理状況等について周知していく。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新150回以上。 ・新聞掲載依頼15回以上。 ・県X20回以上。 ・広報の新たな取り組みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP更新155回（1月末現在） ・県X21回（1月末現在） ・新聞掲載は15回以上（12月末現在） 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地道なHP更新により情報を発信できている。 ・HPの更新が予定どおり実施できた。 ・来年度はパンフレットの更新を実施したい。
オ	<p>企業・大学・地域・家庭等との連携を深め、定期的な情報発信を行い、相互交流を活発に行い、学校評価を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育活動は評価できる」保護者80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果91.7% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・満足できる結果であった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「教育方針・教育活動をわかりやすく伝えている」保護者85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果79.6% 		<ul style="list-style-type: none"> ・PTA学年会を各学年1回YouTube配信で開催した。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「連絡や情報提供がきめ細かく行われている」保護者80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果78.9% 		<ul style="list-style-type: none"> ・きずなネットを積極的に活用している
		<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕のある事前連絡案内の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会、学年会の参加者（閲覧数）が増加した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・遅くとも1か月以上に前に保護者に連絡ができるよう準備を心掛けた。更に紙で配付せず、きずなメール配信で行うことで、保護者への連絡を徹底した。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「浜商のことがわかった」来校者90%以上 ・志願者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日体験入学・オープンスクールを各1回実施し、来場者アンケート「浜商のことが理解できた」が98.5% ・中学校への出前授業は25回実施 ・近隣中学校には2回以上訪問実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね達成できた。 ・出前授業で商業科目に対する理解が深まった。 ・商業科職員で、一日体験入学やオープンスクールの自由相談コーナーを担当し、対話を通じて浜商へ興味を持つ生徒および保護者を醸成することができた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・時間・期限の厳守 ・会議資料のペーパーレス化及び確実な事前配付（提示） ・マネジメントの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・何かしら時間外勤務時間の縮減に取り組んでいる教職員88.2% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員各自の勤務管理システムへの記録を徹底し、自身の働き方を把握し縮減に努めた。 ・職員会議をはじめ、会議のペーパーレス化が進んだ。
カ	<p>ICT推進や改革を意識し、効率的な業務の遂行と教育環境の整備を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事検討委員会の開催と改善案の提示 ・計画的整備の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化と合わせての継続検討 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・行事検討委員会を実施し、職員アンケートの結果を踏まえ、一部の行事について検討し、改善案を提案した。継続審議が必要なものについては、引き続き検討していく。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・部活動計画の提示の徹底（毎月・長期休業） 		B	<ul style="list-style-type: none"> ・データ化して管理した。共有しやすいが未提出部活もあった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・必要な文書を誰もがすぐに取り出せる状態になる 		B	<ul style="list-style-type: none"> ・NES上に共有DBを設置し様式等の共有化を行った。掲載データの見直し等を継続的に行い、効果的に運用できるよう図っていく。
キ	<p>生徒教職員ともに高い志と学び続ける姿勢を持ち、「人を大切にします。学び続けます。地域に貢献します。」の浜商三訓を力強く実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書する習慣が身についている」生徒60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書習慣が身についた生徒55.1% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した読書習慣は定着しつつあるが、担任による指導の違いがみられ、徹底にはもう一步の努力が必要である。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ研修の実施5回以上 ・課題解決型グループ討議2回以上 ・研修会1回以上 ・教職員の授業参観3回以上 ・全教職員の外部研修参加1回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権（掲示）1回、クラス経営（年次別研修）2回、セミナー視聴（告知・参加）10回の計13回の研修を行った。 ・授業参観3回以上66.7% ・外部研修参加74.5% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修としては、